

## Psalm 23 Sermon 詩篇 23 篇

数年前、トルコの小さな村の外で奇妙な事件がありました。羊飼いたちが朝ご飯を食べに行き、約 1,500 頭の羊から目を離しました。すると、1 頭の羊が崖の方にさまよって出て、落ちました。それについていって、群れの全ての羊が崖から落ちたのです。落ちた羊のうち 450 頭は死に、これがクッションになって、残りの羊は生き残りました。羊は勝手に歩き回り、盲目的についていくものです。羊飼いなしでは、羊は迷うしかないので。

これは、私たちの姿のようにないでしょうか。私たちは皆、満足、平安、目的など、何かを探し求めています。しかし、探し求めてさまよった先にあるのは、不安や、失望ばかりではないでしょうか。

詩篇 23 篇でダビデは、別の道を示しています。「主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。」私たちは、自分の思うままの道を生きようとしても満足は得られません。しかし、私たちの羊飼いであるキリストにあって、本当に必要としているすべてを見出すことができます。

詩篇 23 篇を読みましょう。

**ダビデの賛歌。**

- 1.主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。
- 2.主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴われます。
- 3.主は私のたましいを生き返らせ 御名のゆえに 私を義の道に導かれます。
- 4.たとえ 死の陰の谷を歩むとしても 私はわざわいを恐れませんが。あなたが ともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖 それが私の慰めです。
- 5.私の敵をよそに あなたは私の前に食卓を整え 頭に香油を注いでくださいます。私の杯は あふれています。
- 6.まことに 私のいのちの日の限り いつくしみと恵みが 私を追って来るでしょう。私はいつまでも 主の家に住まいます。

ダビデは、羊飼い、牧者としての主の姿を美しく描いています。私たちの良い羊飼いであるイエスが、すべての必要を満たしてくださることを見ていきましょう。

1. イエスは私たちの最も深い渇きを満たしてくださるお方であり、私たちは、そのイエスに羊飼いとして従うよう、招かれています。(2~3 節)

ダビデは初めに、「主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。」と述べています。

イエスは、ヨハネの福音書第 10 章で、「わたしは良い牧者です。良い牧者は羊たちのためにいのちを捨てます。」と言われました。キリストは私たちを、遠くから気遣うものではありません。一人ひとり個人的に、完全に、ご自身の愛に基づき、牧してくださるのです。

### A. イエスは、平安への私たちの内なる渇望を満たす。(2 節前半、3 節前半)

「主は私を緑の牧場に伏させ」

イスラエルでは、「緑の牧場」というのは緑の豊かな草原のことを指すわけではありません。乾燥した荒野の中で、草の茂みがある丘の中腹なのです。羊飼いは、羊がどこで餌を食べられるかを知っています。そして羊が安心して休めるように、危険から守ります。私たちの羊飼いは、平安を与えてくださいます。そしてそれは、主の慈愛と守りに満ちた、私たちのすべての理解を超えた平安です。人生が荒野のように感じられるときでも、キリストは私たちを周囲の脅威から守り、安心と憩いの場を与えてくださるのです。

「主は私のたましいを生き返らせ」

これは深く、永続的な回復です。傷つきすり減ったものが、本来あるべき姿に戻されることです。私たちのたましいは、人生の重荷で疲れ果てています。主はその私たちのたましいを生き返らせます。どのようにでしょうか？福音を通してです。イエスは、ご自身と死とよみがえりにより、私たちに新しいいのちと新の平安を与えてくださいます。イエスは、私たちの疲弊と不安を永続的な安息に変え、永遠に続くいのちへと私たちを導いてくださるのです。

## B. イエスは、進むべき方向への私たちの内なる渴望を満たす。(2節後半、3節後半)

平安を与えてくださるだけでなく、キリストは、私たちを導いてくださいます。

「(主は私を) いこいのみぎわに伴われます。」

いこいのみぎわは、世がどんなに混沌としていても、イエスに従っていくとき、私たちが平安と確信を持つことができることを示します。

「(主は) 私を義の道に導かれます。」

この「道」は、ヘブライ語で、ぐるぐると回っていく道のことを指します。イスラエルでは、山の斜面にこのような道があります。羊飼いたちが何代にもわたってゆっくりと羊に山を登らせていくことで、踏みならされてできた道です。私たちの羊飼いは、私たちをまっすぐ山の上に進ませるのではなく、回り道をしていく義の道に導かれます。

私たちの霊的な生活において、同じところをぐるぐると回っているような気がするときがあるかもしれませんが、しかし心配することはありません。イエスは、ご自分に従う者を、本当にいるべきところへ、最適な時点で、導いてくださいます。

「御名のゆえに」とは、キリストが私たちを導いてくださる理由は、ご自分の御名に基づいていることを示します。キリストは忠実なお方ですから、私たちは完全に信頼することができます。キリストにあって、私たちは真実であり、忠実である羊飼いに導かれており、その完全な導きに信頼することができます。

イエスは私たちの最も深い渇きを満たしてくださいますが、人生においては予期せぬ困難がやってきます。この詩篇も、そのことから目をそむけていません。私たちの恐れのコアに触れる、真理が述べられています。イエスは私たちの最も大きな恐れにおいて慰めを与えてくださるお方であり、私たちは、そのイエスを羊飼いとして信頼するよう、招かれています。私たちが最も深い闇の中にいるとき、イエスの臨在が何をもたらすかを見ていきましょう。

## II. イエスは私たちの最も大きな恐れにおいて慰めを与えてくださるお方であり、私たちは、そのイエスを羊飼いとして信頼するよう、招かれています。(4節)

詩篇 23 篇 4 節は、緑の牧場から恐ろしい場所へ移ります。それは、「死の陰の谷」です。恐れ—未知への恐れ、失うことへの恐れ、死への恐れは、私たちが誰しも抱くものです。

### A. 必ず来る暗闇の時に、主は慰めを与える。

「たとえ死の陰の谷を歩むとしても」ここでは、「もしも」とは言っていない。暗闇にある時というのは、人生の旅路の一部であることを意味しています。神が私たちを導く道は、苦しみを避けて通りません。苦しみの中を歩いていくのです。「死の陰の谷」は、全くの暗闇である場所です。私たちの人生において最も脅え、最も混乱している時—すべてが真っ暗に感じられ、次に何が起こるのかさえ、目の前にある自分の手すら見えない状況のことです。

しかし良いお知らせがあります。

陰は、反対側から当たっている光があっちはじめて、その光が届かない部分という意味で存在します。私たちの主イエスは、死に打ち勝ちました。イエスは、死を突き抜け、その反対側にある光への道を知っておられる良い羊飼いです。イエスこそが、その光なのです。

私たちは、暗闇の谷を歩くとき、私たちの牧者が既に歩んだ道を通っているのです。イエスは、十字架の上で死んだ時、最も恐ろしい暗闇を体験しました。しかしイエスは死んだままではなく、よみがえり、永遠に死を打ち負かしました。キリストを信じる者にとって、死の谷はいまや恐怖ではありません。それはイエスの光が最も明るく輝き、永遠のいのちが約束される場なのです。

## B. 主は常にともにおられることにより、慰めを与える。

「私はわざわざを恐れませんが、あなたがともにおられますから。」

イスラエルは、羊飼いはいつも前に立って羊を導きます。ただし、暗い時は別です。夜になると、羊飼いは群れの真ん中に入り、ともにいることで羊を導き、慰め、守ります。これは、聖書の中で最も慰めに満ちた真理のひとつです。私たちが最も深い暗闇の中にあるときでも、主は私たちのすぐそばにおられるので、恐れる必要はないのです。神が近くにおられることを知れば、恐れはその力を失います。主は遠くから見ておられるのではなく、特に人生が最もつらく感じられるときも、私たちとともにおられるのです。

「あなたのむちとあなたの杖 それが私の慰めです。」

これらの道具は、羊飼いが私たちを守り、導くことで私たちを牧してくださることを示します。私たちの良い牧者であるイエスが、私たちのためにしてくださることで、イエスは私たちを罪と死から救うために、十字架の上で死なれました。私たちのために最も激しい痛みを受けてくださり、打ち勝たれたというのに、キリストが常にわたしたちとともにいて、守り導いてくださることに確信を持つことができます。

羊飼いは、私たちを暗闇の中でも導くだけでなく、慈愛に満ちた保護と永遠の交わりに関係に迎え入れます。主が愛をもって私たちを主の家族とし、親しい関係を保ってくださるということを見ていきましょう。

## III. イエスは私たちを慈愛に満ちた保護の下に引き入れてくださるお方であり、私たちは、そのイエスを羊飼いとすする交わりに関係に招かれている。(5-6 節)

詩篇 23 篇は、主がご自分の羊それぞれを牧してくださる様子の美しい描写で終わります。5 節と 6 節では、羊飼いであるキリストが私たちの生活に真に関わり、一人ひとりを愛をもって牧されていることがわかります。この慈愛に満ちた保護のため、私たちは、主と親しい関係を保ちたいという思いが与えられます。恐怖や義務感からではなく、主が私たちの必要とするすべてを与えてくださり、私たちのたましいを守ってくださるお方だと知っているからです。主は私たちを真の、そして永遠の交わりに関係へと受け入れてくださいます。

### A. 主は羊を親密に世話する。(5 節)

「私の敵をよそに あなたは私の前に食卓を整え」これは、キリストの備えと保護を示します。私たちの良い牧者として、キリストは、困難の中でさえも、私たちのために安心でき、豊かな場所を与えてくださいます。羊飼いが牧場から危険を排除する様子を想像するかもしれませんが、キリストは、私たちの問題をすべて取り去るわけではありません。その代わりに、キリストは、問題に直面した状況でも、平安と備えが与えられていることを保証してください。

「頭に香油を注いでくださいます。私の杯は あふれています。」これは、キリストの個人的で、細やかな配慮を反映しています。

羊飼いは、寄生虫から羊を守り、傷を癒すために、細心の注意を払って羊に油を塗りました。同様に、キリストは私たちそれぞれの必要を満ちし、私たちの痛みや恐れに恵みの油を注いでくださいます。

「私の杯は あふれています。」これは、キリストの恵みは豊かであり、私たちに必要なだけのものだけでなく、それ以上を与えてくださり、私たちの人生のあらゆる領域を満ちしてくださることを教えています。

### B. 主はご自分の羊と無限の交わりを持たれる。(6 節)

詩篇 23 篇の 6 節は、神の継続的な臨在と交わりを保証をもって締めくくられます。「まことに 私のいのちの日の限り いつくしみと恵みが 私を追って来るでしょう。私はいつまでも 主の家に住みます。」

「いつくしみと恵み」は、神の愛と忠実さの具体的な表現です。「追って来る」という言葉は、神の愛が私たちが積極的に追いかけてくることを示しています。主があなたの羊飼いであるとき、絶え間なく、力強く、揺るぎない主のいつくしみと恵みがともにあるのです。

「私はいつまでも 主の家に住みます」とは、永遠の話だけでなく、いま、神との親密な交わりの中で生きることも意味します。主の家は、主の臨在と、主との交わりを意味します。また、主の家族、つまり教会の一員であることも意味します。私たちは皆でともに礼拝し、皆で奉仕し、皆で神の愛を現します。羊飼いが子羊を優しく世話するように、キリストは私たちをご自分との、そしてほかの羊たちとの、親密で愛に満ちた関係へと招いてくださいます。羊の群れは、皆で一緒に羊飼いに従っていくものであることを、思い出してみてください

詩篇 23 篇のメッセージはシンプルです。良い羊飼いであるキリストは、ご自分を信頼し、ご自分につき従うよう私たちに招いてくださいます。私たちの深い願望、最も恐れていること、そしてすべての必要を、ご自分に明け渡すように呼びかけられているのです。なぜなら、キリストがそれらを真に満たすことができる唯一のお方だからです。

1 年半前、私たちは近くのショッピングモールにいました。モールに直結する新しい駅の開業の時で、ものすごく混雑していました。その混乱の中で、7 歳の娘、モナが私たちと離れてしまいました。今でも、モナがいなことに気づいたときのノゾミの悲鳴を覚えています。私たちは必死に周りを探しましたが、見つけれませんでした。親であれば皆感じる、あの張り裂けそうな恐怖を覚えました。感謝なことに、私たちに、「もし迷子になったら、その場で待って、探しが来るのを待つように」というルールがありました。私たちが来た道をたどってみると、モナがいました。はぐれた場所に立って、涙を流していましたが、しっかりそこで待っていました。本当によかったです！と安心しました。

この経験から、よい羊飼いを信頼するとはどういうことかを、少し学ぶことができたと思います。人生に迷ったり圧倒されたりするとき、私たちはたいてい、最初に自分なりの方法を見つけたり、自分で物事を解決しようとしたりします。解決策を探して走り回り、自分で状況をコントロールしようとはしますが、多くの場合、人混みの中で迷っている子供のように、ますます迷い、混乱してしまいます。

私たちが自分ですべてやろうとすることをやめ、良い羊飼いであるイエスにゆだねるとき、イエスが私たちに混乱と恐れから解放してくださる—これが福音の教えです。イエスは、私たちが欲しいと自分で思っているものを全て与えてくださるわけではなく、ご自身を与えることにより、あふれ出る恵み、平安と愛で私たちの最も深い渇きを満たしてくださるのです。

イエスは私たちのそばでしっかりと支え、不安を静め、優しく傷を癒してくださいます。

イエスにおいて、私たちは真に必要なすべてを与えられています。イエスは羊のために命を捨てた良い羊飼い、罪と死に打ち勝ち、イエスにあって完全に満ち足りたいのちを私たちに与えてくださいます。

ですから、自分の力でもがくことをやめましょう。良い羊飼いに、すべてをゆだねましょう。

イエスの導き、力、保護を信頼しましょう。イエスにあって、安息と平安、そして真の充足を見出すことができます。

あなたのプライド、恐れ、自己中心的な願望を、イエスに明け渡しましょう。イエスは既にあなたの救いのため、そしてあなたを神の家族の一員とするために必要なことを、すべて成し遂げられたからです。

イエスに自分のすべてをゆだね、イエスを信頼し、イエスにつき従いましょう。そうすれば、イエスにあって、あなたには乏しいことはないと理解できるでしょう。

## Psalm 23 Sermon

Some years ago, a strange thing happened outside a small Turkish village. Shepherds left a flock of about 1500 sheep unattended to go eat breakfast. One sheep wandered too close to the edge of a cliff and fell. The entire flock followed. 450 sheep died, cushioning the fall for the others who survived. Sheep wander and follow blindly. Without a shepherd, they're lost.

Doesn't that sound a bit like us? We're all searching—longing for satisfaction, peace, and purpose—but how often do our pursuits leave us restless and disappointed?

David's words in Psalm 23 give us a better way. "The Lord is my Shepherd; I shall not want." Satisfaction eludes us when we go our own way, but in Christ, our Shepherd, we find everything we truly need.

### Let's read Psalm 23.

Psalm 23: A Psalm of David.

The LORD is my shepherd; I shall not want. 2 He makes me lie down in green pastures. He leads me beside still waters. 3 He restores my soul. He leads me in paths of righteousness for his name's sake. 4 Even though I walk through the valley of the shadow of death, I will fear no evil, for you are with me; your rod and your staff, they comfort me. 5 You prepare a table before me in the presence of my enemies; you anoint my head with oil; my cup overflows. 6 Surely goodness and mercy shall follow me all the days of my life, and I shall dwell in the house of the LORD forever.

David paints a beautiful picture of the Lord as his Shepherd. Let's see how Jesus, our Good Shepherd, meets every need.

First,...

#### I. **Because Jesus satisfies our deepest longings, He invites us to follow Him as our Shepherd (v.2-3).**

David begins, "**The Lord is my shepherd; I shall not want.**"

Jesus, in John 10, declared, "**I am the good shepherd. The good shepherd lays down his life for the sheep.**" Christ's care for us isn't distant—it's personal, complete, and grounded in His love.

##### A. **He satisfies our inner desire for peace (vv. 2a & 3a).**

**"He makes me lie down in green pastures."**

In Israel, "green pastures" aren't lush fields. They're hillsides with tufts of grass in the middle of the dry wilderness. The Shepherd knows where the sheep can find food. He protects them from danger so the sheep feel safe enough to rest. Our Shepherd gives peace—a peace that's beyond anything we can understand, based on His loving care and protection. Even when life feels like a dry wilderness, Christ provides a place of security and rest, keeping us safe from the dangers all around us.

**"He restores my soul."**

This is a deep, lasting renewal, refreshing what's worn out back to how it was meant to be. Our souls feel worn out from life's burdens. He restores our souls. How? Through the Gospel—through His death and resurrection—Jesus gives us new life and true security. He transforms our weariness and restlessness into lasting peace and leads us to a life that endures forever.

##### B. **He satisfies our inner desire for direction (vv. 2b & 3b).**

Besides giving us peace, Christ also gives us direction.

**"He leads me beside still waters."**

The still waters show the peace and confidence we have when we follow Him, even when the world around us is chaotic.

**"He leads me in paths of righteousness."**

In the Hebrew, this refers to “circular paths.” You can still see these paths in Israel, worn into the mountainsides by generations of shepherds who slowly led their sheep upward. Our Shepherd doesn’t lead us straight up the mountain but on circular paths of righteousness. In our spiritual lives, it may feel like we’re going around in circles. But don’t worry. When you follow Jesus, He leads us exactly where we need to be in His perfect timing. Just keep following Him.

“...**For His name’s sake**” means Christ guides us because of who He is. His faithfulness ensures we can trust Him completely. In Christ, we’re led by a Shepherd who is true, faithful, and perfect in His guidance, giving us direction we can rely on.

**Transition:**

While Jesus satisfies our deepest longings, life still throws us curveballs. The Psalm doesn’t hide from that. So, here’s another truth, straight to the heart of our fears: **Because Christ comforts us in our greatest fears, He compels us to trust Him as our Shepherd.** Let’s see how His presence changes our darkest times.

## **II. Because Jesus comforts us in our greatest fears, He compels us to trust Him as our Shepherd (v.4).**

In Psalm 23:4, we move from green pastures to a scary place: “the valley of the shadow of death.”

Fear. We all have it—fear of what we don’t know, fear of losing things, fear of dying.

### **A. He comforts in times of inevitable darkness.**

“**Even though I walk through the valley of the shadow of death.**” It doesn’t say “if” but “even though.” This means dark times are part of life’s journey. The paths God leads us on don’t avoid suffering; they go right through it. The “valley of the shadow of death” is a place of utter darkness. It represents the scariest, most confusing times in our lives—when everything feels so dark, and we can’t see what’s next; we can’t even see our hands in front of our faces.

But here’s the good news:

**Illustration: <<<<Use a flashlight to make a shadow of my hand >>>**

Shadows only exist because light is shining on the other side. Jesus, our Lord, has defeated death. He’s the Good Shepherd who knows the way through death, to the light on the other side. He IS the light on the other side!

When we go through dark valleys, we’re walking a path our Shepherd already walked. Jesus faced the worst darkness when he died on the cross. But He didn’t stay dead—He rose again, defeating death forever. Now, for those who believe, the Valley of Death isn’t scary anymore. It’s where His light shines the brightest, promising us eternal life.

### **B. He comforts by his perpetual presence.**

“**I will fear no evil, for you are with me.**”

In Israel, shepherds always lead their sheep from ahead... except in darkness. As night falls, the shepherd moves into the middle of the flock to lead, comfort, and protect the sheep with his presence. This is one of the most comforting truths in the Bible. Even in our darkest times, we don’t need to fear because the Lord is right there with us. Fear loses its power when we know God is near. He’s not watching from far away; He’s with us, especially when life feels hardest.

“**Your rod and your staff, they comfort me.**”

These tools show us how the Shepherd cares for us—keeping us safe and guiding us. That’s what Jesus, our Good Shepherd, does for us. He protects us from sin and death by dying for us on the cross. Christ faced the worst for us and won, assuring us of His constant presence and care.

**Transition:**

The Shepherd not only leads us through the darkness but also brings us into a **relationship of tender care and eternal fellowship**. Let's look at how He lovingly adopts us into His family and keeps us close.

### **III. Because Jesus adopts us into His tender care, He welcomes us to fellowship with Him as our Shepherd. (v.5-6).**

Psalm 23 ends with a beautiful picture of how the Lord personally cares for His sheep. In verses 5 and 6, we see Christ, our Shepherd, is really involved in our lives, taking care of each of us with love. This loving care makes us want to stay close to Him, not because we're scared or have to, but because we know He gives us everything we need and takes care of our souls. He welcomes us into a true and eternal relationship with Him.

#### **A. He intimately cares for his sheep (v.5).**

**"You prepare a table before me in the presence of my enemies"** shows Christ's provision and protection.

As our Good Shepherd, He prepares a safe, abundant place for us, even amid challenges and opposition. We would imagine a shepherd clearing a pasture of dangers, but Christ doesn't remove all our problems. Instead, he ensures we have peace and provision despite them.

**"You anoint my head with oil; my cup overflows"** reflects Christ's personal, attentive care. Shepherds anointed sheep to protect them from parasites and heal their wounds, applying the oil with great care. Similarly, Christ meets our specific needs, addressing our struggles and fears with the balm of His grace.

**"My cup overflows"** reminds us that Christ's grace is abundant, giving us not just enough but more than we need, filling every area of our lives.

#### **B. He infinitely fellowships with his sheep (v.6).**

Verse 6 concludes Psalm 23 with the assurance of God's ongoing presence and fellowship:

**"Surely goodness and mercy shall follow me all the days of my life, and I shall dwell in the house of the LORD forever."**

**"Goodness and mercy"** are tangible expressions of God's love and faithfulness. The word "follow" means "pursue," showing God's love actively chasing after us. When the Lord is your Shepherd, His goodness and mercy are your constant companions, relentless and unfailing. To **"dwell in the house of the LORD forever"** is not just about eternity but also about living in close communion with God now. The house of the Lord represents His presence and fellowship. It also refers to being part of His family—the church. Together, we worship; together, we serve; together, we reflect God's love. Like the tender care of a shepherd for a lamb, Christ invites us into an intimate and cherished relationship with Him and with the rest of his sheep. Because, if you think about it, a flock of sheep follows the Shepherd together.

#### **Application and Conclusion:**

The message of Psalm 23 is simple: Christ, our Good Shepherd, invites us to trust and follow Him. He calls us to give Him our deep desires, our biggest fears, and all our needs because He's the only One who can truly satisfy them.

A year and a half ago, we were at the mall nearby. It was the grand opening of the mall's new train station, and it was incredibly crowded. In the chaos, our seven-year-old daughter, Mona, got separated from us. I still remember Nozomi's shriek when she realized Mona wasn't with us. We frantically looked around but couldn't find her anywhere. We felt that gut-wrenching fear that every parent dreads. Thankfully, we have a family rule: "If you get lost, stay where you are and wait for us to come and find you." When we retraced our steps, there she was, standing right where she had gotten separated, tears streaming down her face, but she had stayed put. What a relief!

This experience gave us a small glimpse of what it means to trust our Good Shepherd. So often, when we feel lost or overwhelmed by life, our first instinct is to try to find our own way or to fix things ourselves. We run around searching for solutions, trying to take control, but like a child wandering in a crowd, we often end up even more lost and confused.

The Gospel teaches us that when we stop trying to do everything ourselves and surrender to Jesus, our Good Shepherd, He lifts us out of our confusion and fear. He satisfies our deepest desires not by giving us everything we think we want but by giving us Himself—overflowing grace, peace, and love. He holds us close, calming our worries and gently healing our hurts. In Jesus, we have everything we truly need. He is the Good Shepherd who laid down His life for the sheep, who conquered sin and death, and who now offers us the fullness of life in Him.

So, here's the invitation: Stop struggling on your own. Surrender to the Good Shepherd.

Trust in His guidance, His power, and His care. In Him, you'll find rest, peace, and true fulfillment.

Give Him your pride, your fears, and your selfish desires. Give them to Jesus, knowing He's already done everything necessary to save you and make you part of God's family.

Surrender to Him, Trust in Him, and follow Him, and you will find that in Jesus, you shall not want.

**Let's Pray...**